

News Letter

2018.01

Vol. 13

Contents

- 医師のキャリアとワークライフバランスを考えるを開催
- 医療人パパの会を開催
- 女性医師交流会のお知らせ

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます

旧年中は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます

本年もより一層のご支援を賜りますよう、センター一同心よりお願い申し上げます



センター長
副センター長

藤木 稔
松浦 恵子



レポート



医学部4年生

「医師のキャリアとワークライフバランスを考える」の講義を開催しました

12月20日（水）挾間キャンパス臨床中講義室にて、医学部4年生を対象に「医師のキャリアとワークライフバランスを考える」と題したキャリア教育の講義が開催されました。

本学では、昨年度より始まったこの講義ですが、“学生が卒業後、様々なライフイベントや岐路に立った時、自らキャリア形成やワークライフバランスをどうしていくのか”を学生自身で考えられようになることを目的としています。最初に腎臓内科の中田先生と耳鼻咽喉科の立山先生が、診療科を選んだ理由やこれまで歩んできたキャリアやその過程での悩み、仕事と家庭の両立についてお話いただきました。学生は、現役医師のリアルな話に真剣に耳を傾けていました。

その後、学生は12のグループに分かれてチュートリアル室へ移動し、仕事と育児の両立を目指す共働きの夫婦が問題に直面した時に、どのように解決していくかを提示された2つの事例を基に討論を行いました。

《事例1》夫婦ともに大事な仕事の予定が入っている日に、子どもが熱を出したという設定。

《事例2》妻に海外留学の話が出たが、小さな子供がいる。どうするのが良いかという設定。

事例1と事例2を6グループずつに分かれて、事例の問題点、解決策、最善と考える選択と理由についてプロダクトを作成しました。その後、講義室に戻り、心臓血管外科の宮本先生からキャリアアップとワークライフバランスについての講義がありました。現役外科医でありながらイラストレーターとして本も出版されている宮本先生のイラストと、座右の銘が随所にちりばめられているスライドに学生は釘づけでした。また、留学の経験や現在の医局での女性医師の働き方についてのお話にも、学生たちは真剣に耳を傾けていました。宮本先生の講義の後は、グループで話し合った結果の発表です。各事例3グループがロールプレイによる発表、残り3グループがプロダクトを使っでの発表となりました。ロールプレイはグループ毎に工夫されており、それぞれの夫婦役の他に両親や上司、同僚と多彩な配役と土下座有り、夫婦の確執やドラマ張りの熱演をしてくれたグループもありました。そして、プロダクトを使って発表したグループでは、子育て支援に関する制度などもきちんと調べて加えられており、とても充実した内容となっていました。



心臓血管外科
宮本伸二先生



腎臓内科
中田健先生



耳鼻咽喉科
立山香織先生



グループ討論の様子

ロールプレイ(発表)の様子





第3回医療人パパの会 THE PENGUINSを開催しました



12月21日（木）挟間キャンパス食堂「やまなみ」にて第3回医療人パパの会が開催されました。

当日は、医師、看護師、薬剤師、事務、リハビリ、検査技師そして学生さんも含め多職種の方に年末のお忙しい中、25名の方にお集まりいただきました。中には、忘年会やカンファレンスで短時間しか参加できず、あまりお話しできなかった方もいましたが、まずは、少しの時間であっても参加して下さったこと、興味を持って下さったことが大きな一歩ではないでしょうか。

全国的にイクボスであるとか、ダイバーシティであるとかは、ブームとっていいくらいに浸透してきていると思います。癌やうつ病といったご自身の病気と闘いながら、あるいは育児だけでなく、ご家族の介護をしながら仕事を続けていくことの意味、大切さというのは昨今大分注目されるようになってきております。

おそらく病院内にもさまざま困難と向き合いながら、仕事を続けておられる方がいらっしゃると思いますが、それを表に出さない方も多いかと思えます。

総合病院である当院の職員が、そういった困難に向き合いながら仕事を続けていくことを応援する雰囲気づくりをしていくことに、この活動の意味があると感じております。

実際に、他施設との交流においても国立大学附属病院において、このような「パパの会」がある施設は、ほとんどないためびっくりされることが多いです。

会の中では、子育てのことや子供の人数とか性別とか、どのくらい家事をしているかなどパパ談義が盛り上がりました。保育園や塾の送迎をして感じることは、パパの送迎は、決して少なくないんですが、どうしてもママと違って、送迎を通して、パパ友ができるかっていうと、PTAのパパ組織とかは別として、やっぱり女性と違ってパパ友ってママ友と比べるとなかなか普通はできにくい気がします。（個人的な感想ですが）。

そういう点でも、この様な活動を通じた情報交換や職場内での雰囲気づくりが、ボトムアップで若い世代からできていったらいいなというのもこの会の目的の一つです。

今年も出生数は、100万人を割ることが確実で、2025年、2050年へ向けて、未来の人口を支える子供たちを育てるパパを今後も応援していきたいと思えます。



女性医師交流会 開催のお知らせ

1月22日(月)17:30より、福利厚生棟職員休養室にて女性医師交流会を開催いたします。
日頃から皆様が抱えている、仕事や子育ての悩みなど普段はなかなかゆっくり話す機会のない院内の女性達で、いろいろと話してみませんか？
大分大学挟間キャンパスに所属する女性医師ならどなた様でも参加いただけます。
途中参加や、途中退出も大丈夫ですのでお気軽にどうぞ！
お問い合わせ・お申込みは、
女性医療人キャリア支援センターまでお願い致します。

女性医師交流会 開催
～ 医師・医学生・学生・職員が参加する交流会 ～

日頃からの悩みや、仕事や子育ての悩みなど、普段なかなかゆっくり話す機会のない院内の女性達で、いろいろと話してみませんか？
大分大学挟間キャンパスに所属する女性医師ならどなた様でも参加いただけます。

日時：平成30年1月22日（月）
PM17:30～
場所：挟間キャンパス 職員休養室
対象：女性医師

お問い合わせ・お申込みは、
女性医療人キャリア支援センターまでお願い致します。

お問い合わせ先
大分大学附属病院 福利厚生棟職員休養室
女性医療人キャリア支援センター
TEL: 097-586-5715
E-mail: carsupport@oita-u.ac.jp